

ULTIMATE HIGH FIDELITY STEREO COMPONENTS

LUXMAN

LUX CORPORATION, JAPAN



M-6000 トランジスタ・パワーアンプ

300W + 300Wの大出力を全段直結ビュア・コンプリメンタリー回路(出力段はトリプル・パラレルPP接続)で採り出しているところに、このアンプの存在意義があります。この特徴は、いずれ一般化されるでしょうが、そのときには改めて、意匠と仕上げ、そして音質が注目されるでしょう。この一見大きすぎる形体も、実は驚異的にコンパクトであることが認識されるにちがいありません。

- 構成/トランジスタ(158)、ツェナ・ダイオード(10)、バリスタ(8)、ダイオード(74)、ホットセル(2)、LED(18)、SCR(1)
- 連続実効出力/300W + 300W(8Ω、両ch同時、片ch動作とも)
- 全高調波歪率/0.05%以下(8Ω、300W)
- 混変調歪率/0.05%以下(8Ω、300W、60:7kHz = 4:1)
- 出力帯域幅/10~40,000Hz(0.1%、-3dB)
- 入力感度/1.25V
- 入力インピーダンス/75kΩ
- SN比/100dB以上
- 付属装置/出力表示用VUメータ&ピークインジケータ、メータ感度切換、入力レベルセット、スピーカー保護用D.Cドリフト検出回路、アンプ保護用過電流検出回路、アンプ保護用ヒートシンク温度検出回路、パワーTr.用ヒュース容検出回路ほか
- 外形寸法/570(幅)×425(奥行)×220(高)mm
- 重量/52kg

STEREO POWER AMPLIFIER

分化独立のコースをたどって発展をとげてきたコンポーネントの世界ですから、アンプにおいても、オーソドックスを求めるとすれば、やはり、独立型でなければなりません。ラックスにお



M-4000 トランジスタ・パワーアンプ

M-6000の姉妹機ですから、もちろん同じ設計趣旨で開発されています。180W + 180Wの大出力をトリプルPP接続・全段直結ビュア・コンプリメンタリー回路で採り出しています。標準的な特性はもちろんのこと、それ以外のデータをもより深く追求し、技術的な裏付けをとりながら、一つ一つのパーツにまで検討を加え、さらに音質を向上させているわけです。保護回路にも万全を期しています。

- 構成/トランジスタ(120)、バリスタ(6)、LED(15)、ツェナ・ダイオード(5)、ダイオード(70)
- 連続実効出力/180W + 180W(8Ω、両ch同時、片ch動作とも)
- 全高調波歪率/0.02%以下(8Ω、180W)
- 混変調歪率/0.02%以下(8Ω、180W、60Hz:7kHz = 4:1)
- 出力帯域幅/5Hz~30,000Hz(0.02%、-1dB)
- 入力感度/1.0V
- 入力インピーダンス/50kΩ
- SN比/106dB以上
- 付属装置/出力表示用VUメータ&ピークインジケータ、メータ感度切換、入力レベルセット、スピーカー保護用D.Cドリフト検出回路、アンプ保護用過電流検出回路ほか
- 外形寸法/485(幅)×390(奥行)×175(高)mm
- 重量/30kg

